



一方、一斉に退職を迎える団塊の世代といわれる人たちの中には、地方での暮らしに興味を持ち、移住を考えている人も多くなっています。そこで市は、空き家の所有者と地方への移住を考え、家を探している人との間に、物件を紹介する「空

◆**増え続ける空き家**

全国的に人口が減少傾向にある中、地方では、若年層の都市部への流出などにより後継者の不足と高齢化が進んでいます。約13万人の人口を抱える本市でも、同様の問題が起っており、その結果として、中山間地を中心に空き家となる家屋が増えてきました。

◆**空き家バンクの仕組み**

空き家紹介事業は、空き家を売りたい(貸したい)人が、物件を市の空き家バンクに登録し、その物件を市がホームページなどで市外の人向けに紹介する制度です。6月22日現在、9軒の物件が登録されており、ホームページ上で空き家の面積や間取りなどを見ることが出来ます。ホームページを見た人が物件を気に入り、実際に物件を売買(賃借)する場合は、市の指定する宅地建物取引業者の仲介で取り引きが行われます。

き家紹介事業」に取り組むこととしました。

市は、中山間地を中心に増え続ける空き家の解消と、奥州市への移住を希望する人を支援するため、ことし4月から空き家紹介事業を始めました。空き家を売りたい(貸したい)とお考えの人は、ぜひ「空き家バンク」に登録してください。

◆登録までの流れ

空き家バンクに物件の登録を希望する人は、本庁企画調整課少子・人口対策室へ登録申込書を提出してください。登録申込書は少子・人口対策室で受け取ることが出来るほか、ホームページからもダウンロードできます。

申請が終わると、市の職員による空き家の現地確認が行われ、空き家バンクへ登録となります。登録された物件は、ホームページで全国に紹介されます(ホームページ上で、物件の地番や所有者の氏名は公表されません)。眠った物件を有効に利用するためにも、皆さんからのたくさんの登録をお待ちしています。

▷ 問い合わせ

本庁企画調整課
少子・人口対策室
(内線 312)